

アルプス中央信用金庫 ディスクロージャー誌2018

あるしん上半期レポート



あるしんの概要 (平成30年9月30日現在)

本店 長野県伊那市荒井3438番地1
会員数 25,820名
出資金 10億60百万円
預金 3,182億55百万円
貸出金 1,235億26百万円
店舗数 22店舗
常勤役職員 255名



アルプス中央信用金庫

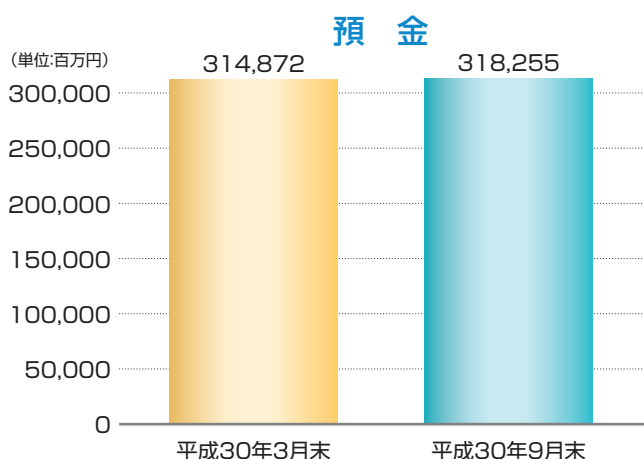
ホームページ <http://www.alpuschuo-shinkin.jp>



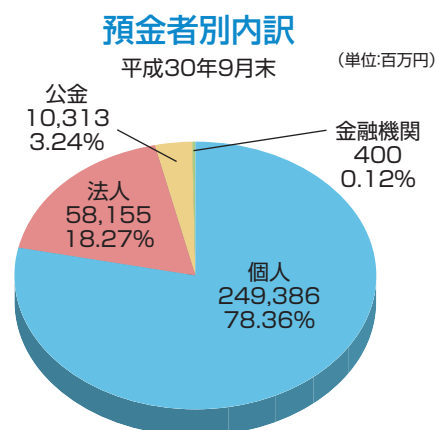
アルプス中央信用金庫の
平成30年度上半期情報について
お知らせいたします。

※ 上半期における財務計数値の記載金額は、
単位未満を切り捨てて表示しております。

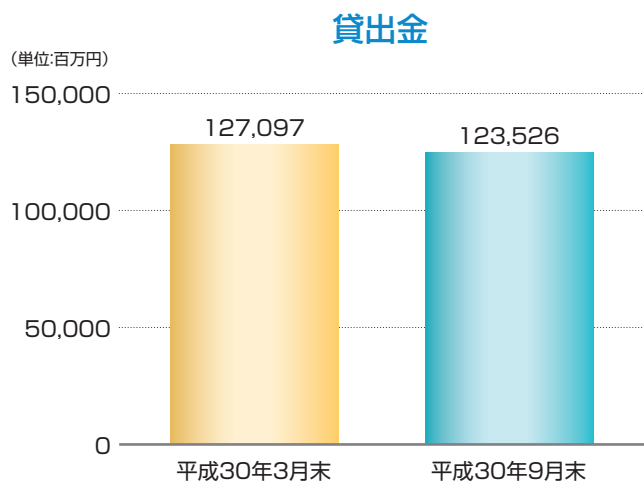
預金・貸出金残高の状況



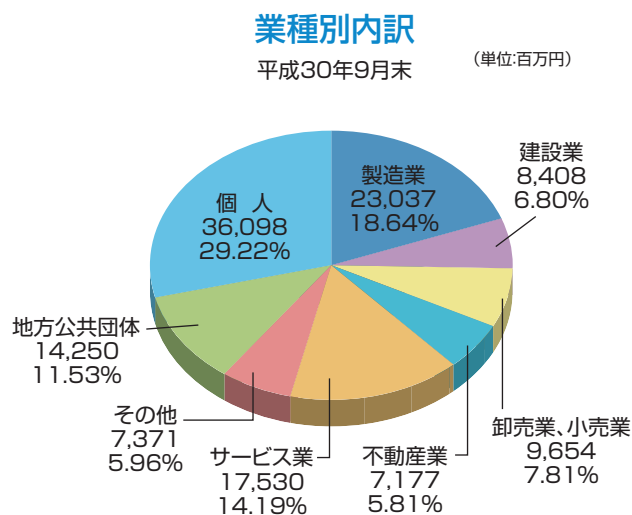
法人預金・個人預金ともに堅調に推移し、対前期末比
3,383百万円の増加となりました。



※ %については小数点第3位以下を切り捨てて
表記しております。



地公体向け融資が増加しましたが、事業性資金、個人
融資が減少し、対前期末比3,571百万円の減少となり
ました。



※ %については小数点第3位以下を切り捨てて
表記しております。

有価証券の時価情報

(単位：百万円)

	平成30年3月末				平成30年9月末			
	時 価	評価差額	うち益	うち損	時 価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	82,833	770	2,056	1,286	84,998	207	1,862	1,654
株 式	1,706	588	607	18	1,679	554	581	27
債 券	50,597	1,217	1,223	6	53,268	1,006	1,043	37
そ の 他	30,529	△ 1,035	225	1,261	30,051	△ 1,352	237	1,590

(注) 1.平成30年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成30年9月末時点の帳簿価額(償却原価法適用後)と時価の差額を計上しております。
2.上記「その他」は、投資信託・外国証券及びその他の証券です。
3.なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下の通りであります。

(単位：百万円)

	平成30年3月末				平成30年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	200	3	3	-	200	3	3	-
子会社・関連会社株式	20	-	-	-	20	-	-	-

金融再生法ベースの不良債権及び同債権に対する保全状況

(単位：百万円、%)

区 分		開示残高	保 全 額	担保・保証等による回収見込額	貸倒引当金	保全率	引当率
		(a)	(b)	(c)	(d)	(b)/(a)	(d)/(a-c)
金融再生法上の不良債権	平成30年3月末	12,880	11,820	5,988	5,832	91.77	84.62
	平成30年9月末	12,176	11,284	5,502	5,782	92.67	86.63
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成30年3月末	6,583	6,583	2,090	4,493	100.00	100.00
	平成30年9月末	6,544	6,544	2,107	4,436	100.00	100.00
危 険 債 権	平成30年3月末	5,972	5,123	3,813	1,310	85.78	60.68
	平成30年9月末	5,348	4,651	3,333	1,318	86.97	65.42
要 管 理 債 権	平成30年3月末	324	113	85	28	35.12	12.09
	平成30年9月末	283	88	61	27	31.22	12.24
正 常 債 権	平成30年3月末	114,897	-	-	-	-	-
	平成30年9月末	112,067	-	-	-	-	-
合 計	平成30年3月末	127,778	-	-	-	-	-
	平成30年9月末	124,243	-	-	-	-	-

- 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 3.「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
- 4.当金庫は、平成30年9月末においては、与信資産の詳細な自己査定を実施しておりませんので、平成30年3月末時点における債務者区分を前提とし、9月末迄の間における倒産、不渡、延滞、貸出条件変更等の事象の発生した先、直近の決算情報を取得した先等について当金庫の自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行った結果、債務者区分が変更になった先を対象とする簡便的な方法による自己査定に基づき開示するものです。

損益等の状況

(単位：百万円)

	平成29年9月末 (上期分)	平成30年3月末	平成30年9月末 (上期分)
業 務 純 益	150	333	63
経 常 利 益	349	387	190
当 期 純 利 益	334	347	188

業 務 純 益 … 金融機関の基本的な業務に係る利益を示すものであり、いわゆる本業による利益です。

経 常 利 益 … 業務純益を含む業務内、業務外の通常発生する収益から、その収益を得るために発生する費用を差し引いたものです。

当 期 純 利 益 … 経常利益に突発的な収益や費用（特別利益・特別損失）を加減し、法人税等を控除したものです。

自己資本の充実の状況等について

自己資本の構成に関する事項

(単位：百万円)

項 目		平成30年3月末	平成30年9月末
コア資本に係る基礎項目の額	(イ)	12,506	12,670
コア資本に係る調整項目の額	(ロ)	190	188
自己資本の額 ((イ)-(ロ))	(ハ)	12,315	12,481
信用リスク・アセットの額の合計額		101,909	101,626
オペレーショナルリスク相当額の合計額を8%で除して得た額		6,886	6,886
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ)	108,796	108,513
自己資本比率 ((ハ)/(ニ))		11.32 %	11.50 %

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

金利リスクに関する事項

(単位：百万円)

運 用 勘 定			調 達 勘 定		
区 分	金利リスク量		区 分	金利リスク量	
	平成30年 3月末	平成30年 9月末		平成30年 3月末	平成30年 9月末
貸 出 金	1,128	1,086	定 期 性 預 金	492	472
有 価 証 券 等	582	651	要 求 払 預 金	290	301
預 け 金	86	91	そ の 他	3	3
コ ー ル ロ ー ン 等	—	—	調 達 勘 定 合 計	785	775
そ の 他	1	1			
運 用 勘 定 合 計	1,797	1,829			
銀行勘定の金利リスク	1,012	1,054			

(注) 1. リスク量は想定する金利の変動幅により結果が異なります。当金庫では金利ショックの変動幅について複数の計測方法でリスク量を算定しています。開示している金利リスク量は、過去5年間の金利データに基づく標準偏差のうち統計処理(99%タイル値)によって異常値を排除して求められた損失予想額を金利リスク量としています。

2. 要求払預金の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、流動性預金残高の50%相当額を、2.5年間滞留するとしてリスク量を算定しています。

3. 銀行勘定の金利リスク=運用勘定の金利リスク量-調達勘定の金利リスク量

トピックス・地域貢献



新入職員15名を新たに迎えました（4月）



合併15周年経済文化講演会 講師 林修氏（4月）



若手経営者の会「あるしん未来経営塾」第5期開講（6月）



特殊詐欺防止啓蒙活動を実施（6月）



合併15周年記念講演会 講師 三澤満氏(7月)



地域夏祭りへの参加（6月～8月）



地域内の中・高校生の職場体験学習（9月）



南箕輪支店で防犯訓練を実施（10月）

金融犯罪、詐欺等にご注意ください！

当金庫は、お客様の「振り込み詐欺」を始めとする特殊詐欺の被害を防止するため、ATMでの1日当たりのご利用限度額を設け、操作画面には注意を促す表示をするほか、ATMコーナーでの携帯電話の使用を禁止しております。また、同様の趣旨から窓口でのお振込みの際にお声掛けをする場合がございますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

- 高額の現金による払い戻しをご希望されるお客様へは、特殊詐欺被害を防止するため、振り込みや預金小切手による払い戻しをお勧めする場合がございます。また、特殊詐欺の被害が疑われる時には、警察に相談させていただきます。
- 全店舗ATMコーナーには、特殊詐欺による犯罪被害防止のため「携帯電話通話感知システム」を設置してあります。
- 70歳以上のお客様に対するATM振込みの制限をさせていただいております。
- 急な現金の受け渡しや振り込みを要求する電話には落ち着いて対応し、事前に必ずご家族や警察に相談し、一人で判断しないようにしましょう。
- 金融機関団体や金融機関をかたる者からの不審な電話や郵便物等があった場合は、お取引店窓口へお問い合わせいただけますようお願いいたします。



インターネットバンキングをご利用のみなさまへ

- ・個人、法人向けインターネットバンキングサービスにて「ワンタイムパスワード」の取扱いを開始しております。ワンタイムパスワードは、番号を盗まれたり、推測されたりすることのないセキュリティ技術のひとつです。30秒毎に使い捨てパスワードが発行され、一度使用したパスワードは無効となりますので、インターネットバンキングサービスをより安全にご利用いただけます。

当金庫では、スマートフォンにパスワードを表示する「ソフトウェアトークン（注1）」と、専用機にパスワードを表示する「ハードウェアトークン」をご用意しておりますので、お客さまの利用環境に合わせてご選択ください。

（注1）法人向けインターネットバンキングサービスではご利用できません。

ハードウェアトークン



【トークンイメージ】

ソフトウェアトークン



【アイコン】 【アプリイメージ】

- ・全国的にインターネットを利用したフィッシング詐欺、スパイウェアによる被害が発生しています。被害にあわないために、「OSやブラウザの最新版へのアップデート」、「不審な電子メールを開かない」、「セキュリティ対策ソフトの利用」等の対策をお願いいたします。

インターネットバンキングに関するお問い合わせ先

インターネットバンキング ヘルプデスク

電話番号：0120-925737

受付時間：平 日 午前9時～午後10時 土日祝日 午前9時～午後5時（12/31～1/3を除く）

!! 通帳・カード等を紛失された場合、または偽造・盗難カードの被害等に遭われた場合には、直ちに下記の受付先にご連絡ください!!

曜日等	受付時間帯	受付先	電話番号	備考
当金庫営業日	9時～17時	お取引店舗	お取引店舗	
当金庫営業日9時～17時以外のATM稼働時間帯・土曜・日曜・祝日		しんきんサービスセンター	03-6433-2937	24時間受付